

想定最大規模の高潮における避難方針を決定しました

千葉市では、令和6年度から実施してきた風水害被害想定調査の結果に基づき、想定最大規模の高潮における避難の方針を決定しましたので、お知らせします。

1 趣旨

千年から5千年に1度起こり得る超大型台風に伴う想定最大規模の高潮について、その危険性を周知するとともに、市民の皆さまの命を守るため、避難の方針を決定しました。

2 避難の方針

風水害被害想定調査では、想定最大規模の高潮が発生した場合においても、市内の指定避難所での収容は可能との結果となりましたが、指定避難所が使用不能となる場合なども考慮した上で、早期避難や分散避難の対策を進めていきます。

3 具体的な対策

- ・新たに「高潮避難計画」を策定し、計画内容を浸水想定区域にお住まいの皆さまを中心に周知します。

<高潮避難計画の2本の柱>

①市による早期避難の呼びかけ

高潮は発生予想に基づく事前避難が可能であるため、できるだけ早期に避難を呼びかけます。

②分散避難（市内の指定避難所以外）の検討

指定避難所が使用不能となる場合や避難者ができる限り普段に近い避難生活を送るため、在宅避難（マンションの上階等）を含めた分散避難の検討を呼びかけます。

- ・市外の指定避難所へ避難（広域避難）を可能とするため他自治体と調整します。
- ・車中泊を含めて民間施設を活用するべく民間企業との災害時応援協定を拡大します。
- ・自宅内に浸水しない地域のマンションの上階等における在宅避難の検討を呼びかけます。

※詳細は別紙「想定最大規模の高潮における避難について」を参照

4 今後の予定

避難方針を周知するため、今後、段階的に次の取り組み等を実施します。

- (1) 市民説明会の実施等による市民の皆さまからの意見聴取（令和7年度）
- (2) 市民の皆さまの意見を反映させた高潮避難計画の作成・周知（令和8～9年度）
- (3) 市民参加型の高潮避難訓練の実施（令和10年度）

＜参考＞令和6年度風水害被害想定調査について

千葉市で発生が予測される風水害に関して、現在公表しているハザードマップでは浸水区域が市内の広範囲にわたっており、具体的な避難対策等の検討が必要となっています。避難者数を精査し、適切な避難手法、避難先の確保などの対策を検討するため、浸水区域における建物被害・人的被害を調査する「風水害被害想定調査」を令和6年度から実施しました。

○想定最大規模の高潮における避難者数

区	① 避難者数 ※浸水深0.5m以上の 地域に住んでいる人	② 避難所避難者数 ※①避難者数のうち避難 所に避難する人	③ 避難所収容可能者数 ※浸水区域以外の避難所 における収容可能者数	④ 浸水区域以外の避難所 における収容過不足数 ※（③－②）
中央	110,533人	40,345人	27,370人	△12,975人
花見川	21,777人	7,949人	42,720人	34,771人
稲毛	3,474人	1,268人	41,280人	40,012人
若葉	786人	287人	45,390人	45,103人
緑	1,475人	538人	38,650人	38,112人
美浜	148,257人	54,114人	0人	△54,114人
合計	286,303人	104,501人	195,410人	90,909人

※風水害被害想定調査結果は市ホームページに公開しています。

【URL】<https://www.city.chiba.jp/sogoseisaku/kikikanri/kikikanri/fusuigaityousa.html>

